

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
17	東京純心大学	看護理論	天野 雅美 看護学部看護学科 教授	1	後期		8		東京純心大学	5

【到達目標】

1. 看護理論を学ぶ意義を説明できる。
2. 理論の分類と特徴を述べるができる。
3. 主な看護理論の歴史的背景と特徴を説明できる。
4. 看護理論を看護実践へ活用する意義を説明できる。

【授業の概要】

この科目では、看護学の基盤である看護理論について学ぶ。看護理論は、知識を体系化し、看護の現象を説明するための枠組みであるため、多くの看護理論に触れながら看護の知識を発展させる必要性を探求する。更に学問的専門性をもつ看護を他分野へ周知するためにも、看護理論が重要であることを学ぶ。具体的には、様々な看護理論を熟読し、グループワークにより理解を深め、看護とは何か、看護者は何をする人か、について学習し、各自の看護観へと繋げる。各自の看護の拠り所となる看護理論を見つけながら、各自の好む看護理論を発見し、学修を深める。代表的な看護理論を通して、その理論の歴史的背景や看護現象のとらえ方、人間観について学び、看護実践に看護理論をどのように活用できるかを学ぶ。

【授業内容】

1. ガイダンス 看護理論の特徴と役割 ・看護理論の分類 ・看護理論活用の目的
2. ナイチンゲールの看護論
 - ・理論の歴史的背景と特徴(グループワーク・発表)
 - ・まとめ、次回の課題
3. オレムの看護論
 - ・理論の歴史的背景と特徴(グループワーク・発表)
 - ・まとめ、次回の課題
4. ロイの看護論
 - ・理論の歴史的背景と特徴(グループワーク・発表)
 - ・まとめ、次回の課題
5. オーランドの看護論
 - ・理論の歴史的背景と特徴(グループワーク・発表)
 - ・まとめ、次回の課題
6. ヘンダーソンの看護論
 - ・理論の特徴(グループワーク・発表)
 - ・まとめ、次回の課題
7. 看護理論の実践への活用
8. ・看護理論と看護過程の関係
 - ・看護過程とは
 - ・看護過程の構成要素
 - ・ヘンダーソンの看護論の活用
 - ・まとめ

【成績評価方法】

- ・評価の視点は、授業時に提示する。
- ・2/3 以上の出席をもって、個人課題 50%、グループワーク参加状況 10%、筆記試験 40%による総合評価とする。
- ・提示された事前課題に取り組んでいない場合、提出期日に遅れた場合、減点対象となる。

【教科書】

1. 深井喜代子編:新体系 看護学全書 基礎看護学②基礎看護技術 I, メジカルフレンド社。(前期に購入済み)

【参考書、教材等】

1. 筒井真優美編:看護理論 看護理論 20 の理解と実践への応用、南江堂.
2. 佐藤栄子編著:事例を通してやさしく学ぶ中範囲理論入門、第 2 版、日総研.
3. オレム看護論(第 4 版)/著:ドロセア. E. オレム/医学書院.
4. ザ・ロイ適応看護モデル(第 2 版)/著:シスター・カリスト・ロイ/医学書院.
5. ナイチンゲール著、湯楨ますほか訳:看護覚え書ー看護であること・看護でないこと、現代社.
6. ヴァージニア・ヘンダーソン:看護の基本となるもの、日本看護協会出版.

※ 初回の授業については、学務課にお問い合わせください。